



杉

故郷を愛し心豊かにたくましく生きる西山っ子の育成
豊かで思いやりのある子 よく考えくふうする子 健康でたくましい子

第 37 号 平成 29 年 3 月 13 日(月)

文責：菊地正人

「名前」をきちんと呼んでいますか？



今朝の全校のつどいの話題は、「名前」の呼び方についてみんなで考えてみました。まず、普段「教頭先生!」と呼んでいます、名前は何でしょうか？ という質問をしたところ、「高久賢一」とフルネームで答えられた子どもは、数名でした。また、友達同士でどのように呼び合っているか聞いてみたところ、呼び捨てにしたりあだ名で呼んだりしている例は見られませんでした。西山の子どもはさすがです。これからもお互いに『さん くん』をつけて呼び合うよう話をしました。さらに、名前には両親を始め、家族などの願いが込められていることも話しました。日頃から、名前をきちんと呼び合うことで、子ども同士や子どもと先生方の信頼関係をさらに深め、互いに尊重し合うことにつなげていきたいと考えています。

そんな中、岐阜県の中学校教諭が、生徒を「サル」とか「宇宙人」と呼んでいたことが判明し、生徒に謝罪した上、注意を受けたという事案が、過日新聞で報道されました。このようなことは、絶対にあってはならないことです。先生方も、呼び捨てや「ちゃん」を付けて呼ぶことに注意することなどを確認し合いました。

年度末や卒業を迎え、それに関連した行事が続いています。3月に入り、次の活動が行われましたので、紹介します。それぞれ『感謝や成長』そして「感動」を実感する場面が随所に見られ、うれしい限りです。

「ボランティア感謝会」

3月6日(月)の朝の活動の時間に行いました。西山駐在所の田口巡査さん、防犯ボランティアの金子セツ子さんと菊地由枝さんにおいでいただきました。今年度一年間大きな事故やトラブルがなかったのも、良かったという話がありました。ただ、「雪玉遊びや雪合戦」などは、相手のことを考え、安全にやってほしいという話をいただきました。



3月8日(水)の放課後に、6年生と先生方で行いました。また、忙しいなかおうちの人にもおいで頂きました。実習で作った軽食とお茶を飲みながら、6年間の思い出を写真で振り返ったり、ゴジラの演奏を聴いたりしました。



最後に、感謝の手紙を渡す場面では、子どももおうちの方も感動で泣いてしまい、全員が涙してしまいました。

「卒業を祝う会(児童)」

「消防クラブ満了式・引継式」

3月10日(金)に3年生以上が参加し、実施されました。初めに、会津坂下消防署柳津出張所長さんから、6年生に退会のしるしとして「期待書」が授与され、その後、5年生へ消防クラブのヘルメットの引継ぎが行われました。所長さんからは防火意識を高めて欲しいとの話がありました。「火の用心」をこれからもよろしくお願いします。

